言語症状について

7 歳　　学年 小2

2024年　4月 20日

音の繰り返し（連発）　なし・少し・**多い**
（繰り返しの回数　5 回）
音の引き伸ばし（伸発）　なし・**少し**・多い
（引き伸ばしの時間　| 秒）
音の詰まり（難発）　なし・少し・**多い**
（詰まりの時間　　秒）
発話時の力　なし・少し・**多い**
（どこか? **口**・**のど**・顔・**手**・足・その他　　）
随伴運動　なし・少し・**多い**
（どのような? 手を振る　　）

生活の様子、気になること

小学校であったことを話す時に、興奮して早口になった時にきつ音が目立った。

2024年　4月 27日

音の繰り返し（連発）　なし・**少し**・多い
（繰り返しの回数　3 回）
音の引き伸ばし（伸発）　**なし**・少し・多い
（引き伸ばしの時間　| 秒）
音の詰まり（難発）　なし・**少し**・多い
（詰まりの時間　| 秒）
発話時の力　なし・**少し**・多い
（どこか? **口**・**のど**・顔・**手**・足・その他　　）
随伴運動　なし・**少し**・多い
（どのような? 手を振る　　）

生活の様子、気になること

日曜日で学校が一日家でのんびり過ごしていたためか、吃音のはあまり目立たなかった。

年

音の繰り返し（
音の引き伸ばし
音の詰まり（難
発話時の力
（どこか?　口・のど・顔・手・足・その他　　）
随伴運動　なし・少し・多い
（どのような?　　）

吃音の言語症状の波を捉えるために、必要に応じて、言語症状を記録します。特に言語症状が多い時と少ない時の言語症状を記録するとよいでしょう。医療機関などにかかっている場合は、そちらで配られた用紙を使用しても良いでしょう。